

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370401461
事業所名	グループホームえがお

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入、回覧板を利用し、運営推進会議の議事録を近隣の人たちに回覧している。 現在はまだコロナ禍でボランティアの受け入れや、行事への参加といった地域交流は中止されたままであるが、状況を見てまた交流を始めたい。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	町内会長、民生委員、いきいき支援センター職員、薬剤師、マッサージ師、入居者、その家族を構成メンバーとして年に六回会議を開いているが、コロナ禍で状況に応じて議事録の郵送という形をとることもあった。その中でも開催できた回では薬剤師による薬の勉強会、マッサージ師によるマッサージの効果の勉強会があり、職員のスキルアップにつながっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区の担当者とは直接面談したり電話連絡をとったりで、連携はとられている。特にコロナ禍において保健所とも連絡をとりあっている。また生活保護者の受け入れがあるので、その担当者との連携もまたしっかりとられている。市の主催する研修に参加予定はあったが残念ながら中止になってしまい、次年度の参加を考えている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	事業所から「えがお便り」が二カ月ごとに発行郵送され、面会に制限がかかる中であって入居者の様子を写真で伝えることができている。ケアプラン更新時や面会、家族の受診支援の時などを利用し、家族の意見や意向をきくようにしている。えがお便りのほかにも多数の写真が撮られており、ほしいとやってきた家族には手渡している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価			×	○	○	○	×	○	○	○	×
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○									

備考欄